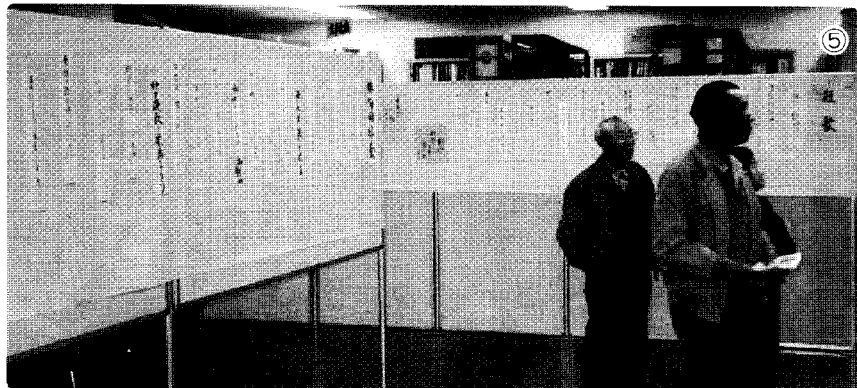
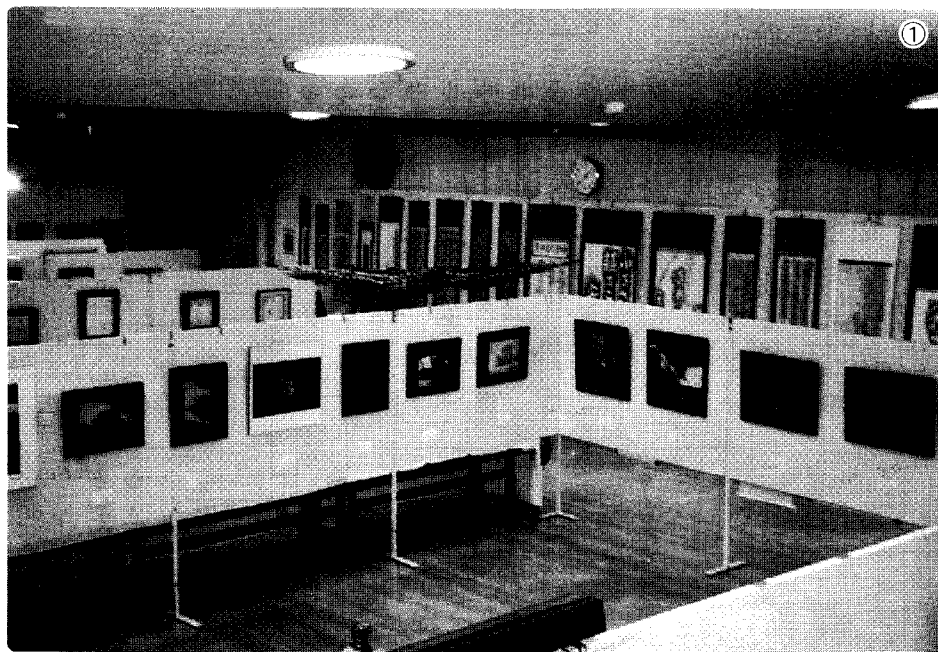
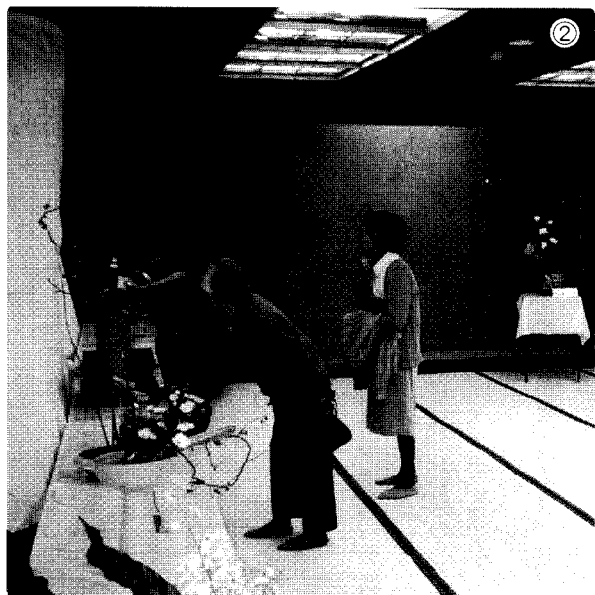


11/3~11/5 ~文化の秋を満喫~ 第25回 町民展

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

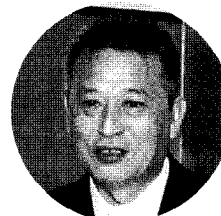
展示作品426点。来館者は約800名。
こじんまりとした町民展ですが、年々作品の質の高まりが感じられます。



- ①町民展メイン会場。3階ホールにズラリと並び力作の数々!
 - ②豪華な生け花展示。(2階会議室)
 - ③粘土で作る花、パンフラワー。枯れることのないきれいな花を展示。(2階廊下)
 - ④正面玄関から入ると、ロマン doll がお出迎え。ロビーでは初日だけお茶会が開かれ大好評。
 - ⑤文芸展。昔から文芸が盛んな小須戸町。104点もの作品が展示されました。(1階図書室)
- その他、色々な作品が展示されました。今年、見逃した方は来年は是非ともいらして下さい。

ちょこっと一言 (141)

子離れ
我が家の長男が家を離れて半年がすぎた。この半年の間に、電話が数回。手紙なし。荷物を送っても音沙汰なし。全く愛想がない。妻などは時折「今、何してるのっか?」「何食べているのっか?」と屈託もなく言っている。私はというと...少々辛いところがある。



新栄町五
高橋信夫さん

先日、珍しく電話があり、それとなく言ってみた。「紅葉がきれいだから、ドライブがてら、磐越道走っておまえの所へ行ってみようかな?」
「えっ、お父さん。俺の家、何しに来るん? 来て俺、家に居るかどうかわからないよ。」
...。冬の木枯らしのような辛い一言であった。

スポーツ大会結果

第二十二回町民パドミントン大会

十一月七日(日)に小須戸小学校体育館において開催されました。

※紙面の都合上、一位のみ掲載いたします。ご了承ください。

大会結果 (敬称略)

- シングルスAクラス
渡辺康二(中央町五)
- シングルスBクラス
周佐 遥(新町三)
- シングルスCクラス
高橋直也(舟戸)
- ダブルスAクラス
渡辺康二(中央町五)
石黒利則(本町五)
- ダブルスBクラス
高野美穂(蔵町三)
- 砂井宏太(文京町)
- ダブルスCクラス
高橋直也(舟戸)
- 松屋翔子(鎌倉)

第四十四回県下柔道大会

十一月十四日(日)に町民体育館において開催されました。

大会結果

- 〔小学生低学年の部〕
優勝 白根市柔道連盟A
準優勝 黒崎町柔道連盟
三位 新津市柔道教室A
三位 修練塾岡ノ谷道場
〔小学生高学年の部〕
優勝 修練塾岡ノ谷道場
準優勝 新発田市柔道スポ少A
三位 白根市柔道連盟A
三位 小須戸町柔道スポ少A
〔中学生男子の部〕
優勝 小須戸中A
準優勝 白根北中A
三位 白根第一中
三位 安田中A
〔中学生女子の部〕
優勝 吉田中A
準優勝 吉田中B
三位 佐々木中
三位 新発田東中B
優秀選手 (敬称略)
坂井公男(小須戸中)
五十嵐啓子(吉田中)
梶原哲彦(修練塾岡ノ谷道場)
広川彰信(白根柔道連盟)

第15回 芸能祭

毎年、3階ホールを埋め尽くすほどの大盛況!
今年も、11月14日(日)に開催され、カラオケ、大正琴、民謡など様々なジャンルを楽しむことができました。



'99 公民館活動を振り返って

99年も余すところ半月程になりました。公民館では、様々な活動に取り組み大勢の皆さんから参加していただきました。来年も参加しやすい事業づくりを目指して、今年一年の活動を振り返ってみたいと思います。

〈家庭教育〉

◆つくしんぼ

0歳から三歳までの子を持つ育児者を対象に集まっている学級です。子どもさんと一緒に「ミニ運動会」や「クリスマスパーティー」をやって仲間づくりに努めています。

◆あすなるっ子広場

四歳から就学までの子を持つ育児者を対象に集まっています。勉強会や洋裁など、いろいろと学習しています。

〈青少年教育〉

◆親子チャレンジ教室

小学生とその両親を対象とした学級です。ニュースポーツや国際交流など様々な活動を通して団体行動や親子のふれあいを高めています。



親子チャレンジ教室

〈成人教育〉

◆おもしろ雑学講座

いろいろな分野の講師をお迎えして、自分の経験や知識をお話していただく講座です。

◆新津南高等学校開放講座

日頃学べない専門知識を新津南高校の先生方からわかりやすく、面白く講義していただいています。

◆生きがい講座

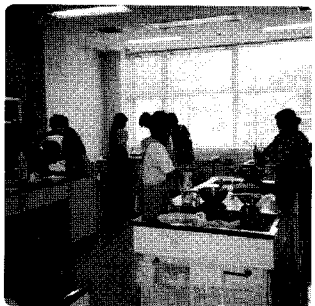
高齢者を対象とし、生きがいについて、主に有識者にお話していただき、人生をどう過ごすかを学んでいきます。

〈婦人教育〉

◆婦人学級

各分館(小須戸・矢代田・横水・新保)では地域の中の仲間づくりを通して、レクリエーション、料理、学習会など楽しく活動しています。

〈入門教室〉



中華料理教室

◆初心者写真教室

◆茶道入門教室

◆夏休みパソコン教室

◆中華料理教室

◆マリンスポーツ教室

◆フラワーアレンジメント教室

◆押し花体験教室

◆読み聞かせ講座

◆雪吊り講座

◆正月切り絵教室

◆そば打ち道場

今年新たに開設した講座や専門的な教室に大勢の参加をいただき好評でした。

〈生涯学習事業〉

◆有志指導者の方を希望グループへ派遣し、地元の会場で教室を開催できます。

〈文化祭事業〉

◆第二十五回町民展

(来館者800名) 作品数四二六の力作が一同に会しての町民展で各会場には工夫を凝らした作品が飾られ公民館は文化の秋真つ盛りでした。

◆第十五回芸能祭

二十八団体の皆さんが踊り

や眼などを披露し一年間の成果を見せていただきました。

◆第十六回文化講演会

(来館者100名) 講師はレッツゴー三匹でおなじみのレッツゴー正児さん。

「男一匹、負けてたまるか」涙と笑いの人生日記」と題した講演をしていただきました。貧しかった幼少時代、芸能界での下積み時代など、笑いをまじえた講演は聴衆の心をしっかりととらえていました。

〈分館活動〉

分館運動会や講演会、文化祭などいろいろな面で地域の為に事業を取り組んでいます。

◆視聴覚・図書・広報活動

◆夏休み・冬休みアニメ映画会

◆図書室夜間開放(毎週金曜日)

◆ふれあい会館移動図書

◆情報「こすど」の発行

◆公民館報毎月一回の発行

今年一年間、公民館活動に参画いただき感謝申し上げます。来年も是非活動に参加していただけるよう、生涯学習に力を入れていきたいと考えております。

一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

◆公民館職員一同

◆公民館休日のお知らせ

十二月二十三日(木・祝)

十二月二十八日(火) 夜間から翌年一月六日(木) まで年末大掃除並びに公民館内整理の為休館いたします。

一月十日(月・祝)

よろしくお願いたします。

◆ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆一月の相談日

七日(金)・十四日(金)

二十一日(金)・二十八日(金)

◆受付時間

午後一時～五時

◆電話番号

三八一三三〇〇

○お名前、言わなくてもいいです。

○秘密は、固く守ります。

第六十四回日柳壇賞

高橋忠太郎さん 永野四郎賞!

小須戸町文化協会長を務められている高橋忠太郎さんが「第六十四回日柳壇賞」を受賞されました。

川柳投句を始められて十四年目の初受賞。深みを増した句に選者の方からは「柳壇賞は運きに失した感がある。」との言葉も。

高橋さんは「万年候補だと思っていました」とおっしゃっています。根強い投句も受賞の要因のようです。

おめでとございました。



◆冬休みアニメ映画と読み聞かせの集い

日時 十二月二十六日(日)

①午前十時～十一時三十分まで

会場 中央公民館二階視聴覚室

②午後二時～三時三十分まで

会場 矢代田ふれあい会館

内容 アニメ映画の上映とボランティアによる絵本の読み聞かせ。

VOICE & VOICES 私はある 私は考える

「ゴミについて考えてみませんか」

先日「第一回環境学習会」に参加しました。あつという間に時間が過ぎ、現状の説明や衛生センターの優れた処理機能のビデオを見ること、ゴミの出し方の確認で終わってしまいました。これから私達はゴミを出さないよう、何をすれば良いのか!という話までに至らなかった事にとっても残念でした。

有料化に伴い二三%のゴミが減量したとの事ですが、我が家の量はあまり変わっていません。

以前からゴミ問題に興味を持っていた私は、三年前、ゴミ問題先進国ドイツを研修した後、ボカシを肥料に変える「ボカシ」を始めました。ボカシは庭に穴を掘って埋めたり、プランターに入れ野菜作りに利用しています。プラントは甘くてとても美味しい実をつけます。しかし、これからの季節、雪が降りたりすると埋めるのがとても面倒になります。

ある市では「EMボカシモニター」を募集し、ボカシ作りから農地の埋戻しまで一貫して行政主導で行っている所があると聞きました。それなら埋める場所のない人でもボカシを始めることができて良い方法だと思えます。今後学習会に参加してゴミの減量化について考えて行きたいと思えます。

オムツを早く外したい母! ... ご投稿いただきありがとうございます。

文芸欄

丸山虚秋

坂井隆思

田中美根子

中野太浪

吉田素系

東樹ちよ

藤井ハルエ

田沢 弘

山崎しず枝

栗原ひさし

加藤米二

保科志枝

我妻清作

柳 結び目の緩みへ嘘をまた重ね

青りんごリボン結んでする巢立ち

ライバルが富士山頂で手を結ぶ

鴛鴦の契りを結ぶ凡夫婦

鳥居清三

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

加藤米二

保科志枝

我妻清作

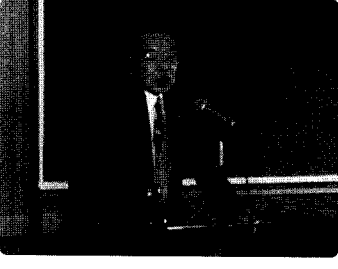
加藤米二

保科志枝

「あつ、バツタだ。」 私は、地域の人達、班の人達と一緒に虫をさがしていた。(中略) 虫取りもお手玉も、あまりやった事がなかったけど、班の人達とも仲よくなつて、もう最高だった。」

これは「ふれあいフェスティバル」の六年生の感想文です。

九月二十六日秋晴れの日曜日、信濃川親水緑地公園で初めて「ふれあいフェスティバル」を行いました。チャレンジ21教育推進運動の目玉事業として、友達や地域の人達、自然とかかわり合い、心豊かな子どもになつてもらいたいと実施しました。



9日 「高齢者の生きがい講座」新津保健所長櫻井巖人さんから、日頃の健康管理についてお話していただきました。



12日 「おもしろ雑学講座」町保健福祉課長の海津さんより介護保健についてのお話をいただきました。



13日 「親子チャレンジ教室」スポーツの秋に「ユニホッケー」に挑戦しました。

11月のサイスショット